

安全上の注意

警告

● 取付工事やLEDモジュール交換、清掃のときは、必ず電源を切ってください。直流電源装置の故障、感電の原因となります。 ● 万一、煙がでたり、変な臭いがあるなどの異常状態が発生した場合はすぐに電源を切ってください。そのまま使用すると、感電、火災の原因となります。また、異常状態がおさまったことを確認してから工事店、電器店に修理を依頼してください。	● LEDモジュールの分解、改造は絶対にしないでください。故障、落下、感電、火災の原因となります。(指定箇所での切断は除く)
● 取付工事は、取扱説明書にしたがって確実におこなってください。感電、火災、ケガの原因となります。 ● LEDモジュールの取り付けは、LEDモジュールの質量に耐えるところに取扱説明書にしたがって確実におこなってください。取り付けに不備があると落下し、感電、ケガの原因となります。 ● 電源送り容量は合計2A(集中電源システムでは1.2A)までとし、LEDモジュール間での電源送りによる使用可能灯数は、取扱説明書で指定した連結合計長以下で使用してください。感電、火災の原因となります。	● LEDモジュールに内蔵されている電子部品には、絶対に触れないでください。感電の原因となります。 ● 紙や布や断熱材などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。故障、火災の原因となります。 ● LEDモジュールの隙間に金属類や燃えやすいものを差し込まないでください。感電、火災の原因となります。 ● 適合直流電源装置(別売)以外は使用しないでください。LEDモジュールの破損、発煙、点灯回路損傷の原因となります。 (適合直流電源装置:ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDB、ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDD)

注意

● 屋外では使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 雨や水滴のかかる状態や湿度の高いところで使用しないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 床、什器等の清掃の際は、LEDモジュールに水や薬品がかからないように注意してください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 清掃する際は、シンナーやベンジンなどの溶剤を使用しないでください。水を濡らした柔らかい布でよく絞ってから拭いてください。カバが劣化し破損の原因となることがあります。 ● 振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。故障、落下によるケガ、火災の原因となることがあります。 ● 引火する危険性の雰囲気(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカーなど)で使用しないでください。火災、爆発の原因となることがあります。 ● 硫黄や塩素などが存在する腐食性雰囲気のあるところ(温泉地など)では使用しないでください。故障、落下の原因となることがあります。 ● 粉塵の多いところでは使用しないでください。火災の原因となることがあります。 ● 暖房機器、火気などの上や近接したところでは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。 ● LEDモジュールを被照射面に近接した位置に取り付けしないでください。被照射面の変色や変質、火災の原因となることがあります。 ● LEDモジュール取付時は、マグネット受け金具(別売)やアルミレール(別売)を用いて確実に取り付けてください。LEDモジュール落下によるケガの原因となることがあります。	● 点灯しているLEDモジュールを長時間直視するのはおやめください。目を痛めたり、目に悪影響を及ぼすおそれがあります。 ● 濡れた手でコネクタを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ● 過度な荷重をかけないでください。故障、落下の原因となることがあります。 ● 電線の接続点やLEDモジュールの電線に張力を加えないでください。不点灯、感電、火災の原因となることがあります。 ● LEDモジュールの温度上昇は収納部の容積やLEDモジュールと周囲の造営材との距離に影響されますので、放熱には十分注意してください。放熱が悪いと、故障、火災の原因となることがあります。 ● LEDモジュールに塗料などを塗らないでください。故障、破損、感電、火災の原因となることがあります。 ● 点灯中や消灯後しばらくは、LEDモジュールが熱いので絶対に手や肌などを触れないでください。ヤケドの原因となることがあります。 ● 取付穴をあけないでください。故障、感電、火災の原因となることがあります。 ● 磁石を使用してLEDモジュールを天井や高所に取り付けしないでください。故障、落下によるケガの原因となることがあります。 ● 磁石には非常に強い吸引力が働きますので、体の一部を挟まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。 ● 可燃性造営材に取り付ける場合にはLEDモジュールとの間隔をとってください。火災の原因となることがあります。 ● 誤って落下させたLEDモジュールは使用しないでください。故障、火災の原因となることがあります。
--	--

ご使用上の注意

● 周囲温度は5℃～35℃の範囲で使用してください。LEDモジュールの短寿命、不点灯、チラツキ、明るさ低下、故障の原因となることがあります。特に、周囲温度が高い場合など設置環境によっては、樹脂部品(照明カバーやコネクタなど)の変色を伴う劣化、破損の原因となりますので次の事項を守ってください。 ①2台以上並べて設置する場合には、相互の熱の影響を受けますので50mm以上間隔を空けて通風に注意してください。 ②狭く周囲に空気の対流がなく熱がこもりやすい場所での埋め込み設置は、最小施工寸法より大きくとりLEDモジュールが過熱しないようにしてください。 ③他の光源近傍や付近に熱源を置かないでください。 ④直射日光の当たった場所や紫外線の多い場所には設置しないでください。 ● 点灯および消灯直後にLEDモジュールからの熱による金属の膨張収縮で、きしみ音が発生する場合がありますが、安全上に問題ありません。 ● 塗料や接着剤などの揮発性の溶剤が使用される場所では使用しないでください。樹脂部品(照明カバーやコネクタなど)の劣化・破損の原因となることがあります。 ● 周囲に硫黄成分が存在する場所では使用しないでください。光色変化、光束低下、不点灯の原因となることがあります。 ● 近くで赤外線リモコン機器を使用しないでください。リモコン機器が正常に動作しないことがあります。リモコンの受信部には、LEDモジュールの光が入らないよう配慮してください。 ● LEDモジュールを並列に取り付ける場合は、LEDモジュール1台分の間隔以上離してください。熱干渉により光束が落ちたり、LEDモジュールの短寿命の原因となることがあります。	● 電源波形に歪みや変動があるときはチラツキを生じる場合があります。 ● LED素子にはバラツキがあるため、同一形式商品でも商品ごとに光色、明るさが異なる場合があります。ご了承ください。 ● ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。雑音が入るときはLEDモジュールから1m以上離して使用してください。 ● 通電したままLEDモジュールを脱着しないでください。直流電源装置、LEDモジュール故障の原因となることがあります。 ● 交換の際はLEDモジュールごと交換してください。LED素子単体では交換できませんのでご注意ください。 ● LED素子は、経時的に光色、明るさのバラツキが発生する場合があります。ご了承ください。 ● LEDモジュールの自重や磁石の磁力によるソリを防ぐよう、マグネット受け金具(別売)やアルミレール(別売)を配置してください。 ● 什器等の絶縁性能試験を実施する際は、LEDモジュールを必ず取り外しておこなってください。LEDモジュールが故障します。 ● 磁石に磁気カードやメモリー等の電子記憶媒体などを近づけないでください。磁気の影響により、記録内容が消去されるおそれがあります。 ● 磁石をパソコンやディスプレイ、時計などの磁気の影響を受けやすい電子機器に近づけないでください。磁気の影響により、故障の原因となることがあります。 ● 調光する際は、指定の調光用直流電源装置と調光器を必ず使用してください。 ● 被照射物の染料や顔料の特性によって、LEDの可視光により退色や変色する場合があります。 ● 扉の開閉箇所など、LEDモジュールが繰り返し曲げられる場所へ取り付けしないでください。故障の原因となることがあります。
--	--

保守・点検

● 照明器具および関連部品(直流電源装置・調光器・モジュール)には耐用年数があります。耐用年数とは、照明器具等が部材の経年劣化等によって不具合が生じる、または不具合が生じる頻度が高くなり交換を要するまでの使用期間をいい、「適正交換時期(8～10年)」と「耐用の限度(15年)」があります。 ● 設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。 ※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。(日本照明工業会ガイドA111-2024) ※LED光源は光束維持時間を過ぎても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。	● 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、耐用年数が短くなります。 ● 1年に1回は、「安全チェックシート」により、自主点検してください。(弊社のホームページまたは製品カタログに掲載) ● 3年に1回は、工事店等の専門家にによる点検をお受けください。 ● 点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙・発火・感電などに至る恐れがあります。
--	--

ナロータイプ

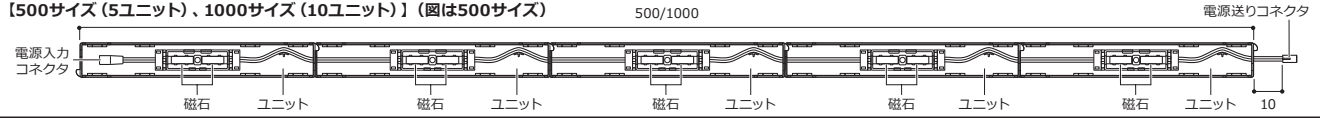
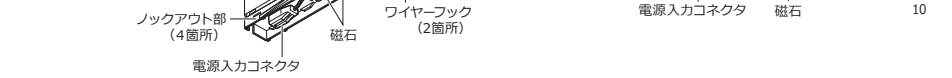
形式 ^{※1}	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100□□N20-MG	100	2.1	0.02	1
CHC-LED500□□N20-MG	500	10.4	0.1	5
CHC-LED1000□□N20-MG	1000	20.4	0.2	10

ワイドタイプ

形式 ^{※1}	全長(mm)	LEDモジュール入力電力(W)	本体質量(kg)	ユニット数(個)
CHC-LED100■F-MG	100	1.9	0.02	1
CHC-LED500■F-MG	500	9.4	0.09	5
CHC-LED1000■F-MG	1000	18.7	0.18	10

各部の名称と外形寸法

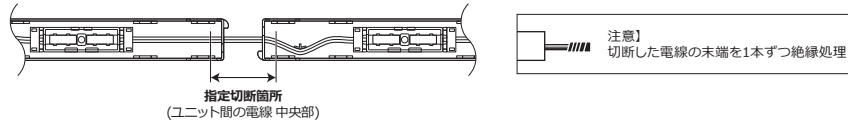
単 位 :mm
本 体 :ポリカーボネート



<LEDモジュールの長さの調整方法>

- ①電線を指定の切断箇所(右図)で切断してください。
- ②切断した電線の末端を1本ずつ絶縁処理してください。

注意】切断した電線は再接続、延長配線はできません。



取付方法

1.本体の取り付け

警告

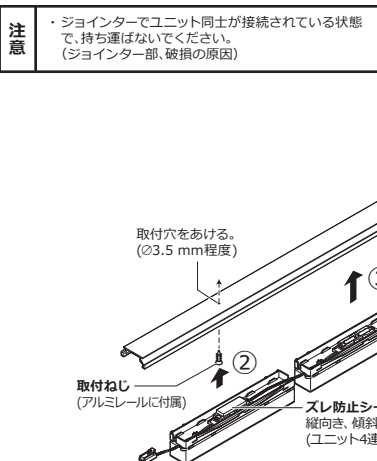
不完全装着のまま使用すると落下します。
LEDモジュールはレールに確実に取り付けます。

注意

・ 連結されているユニットの端部を下図のように持たないでください。
(電線に負荷が掛かり、断線原因)

注意

・ ジョインターでユニット同士が接続されている状態で、持ち運ばないでください。
(ジョインター部、破損の原因)



アルミレール TR-CHC(別売)で取り付ける場合

■直線で取り付ける

- ①アルミレールをLEDモジュール全長に合わせて切断してください。
- ②アルミレールに取付穴(約3.5mm程度)をあけ、取付ねじ(アルミレールに付属)で造営材に確実に固定してください。ねじ取付ピッチ:500mm以内
注意】取付穴加工は、溝以外にしないでください。
- ③アルミレールにコネクタ接続をしないユニットを装着してください。
注意】縦向き、傾斜取付時はスリ防止シートを磁石に必ず貼り付けてください。
(ユニット4連結に1個、ただしアルミレールTR-CHC100A使用時は各ユニットに1個)
- ④LEDモジュールを連結する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続し、ユニットをアルミレールに装着してください。

アルミレール(別売)
TR-CHC100A(六有)
TR-CHC1000
TR-CHC1500
TR-CHC2000
※末尾の数字はレールの長さを表します。(単位:mm)
材質:アルミ
付属品:ねたベッティングねじ 5個
3x12mm
スリ防止シート 5個
※TR-CHC100Aは各1個、TR-CHC2500は各10個付属

単位:mm

①片側をレールに引っかける ②押し込む

<並列に配置する場合は>
20mm以上離す
<直列に配置する場合は>
5mm以上離す
10mm以上離す

<本体の取り付け状態>
完全装着 X 不完全装着
取付ねじ(アルミレールに付属)

①マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む ②ひねって連結を解除する ③1番以下のマイナスドライバーの先端をユニット側面中央部の切り欠きへ差し込む ④ユニットを押し出す

取付穴をあける。(約3.5mm程度)

取付ねじ(アルミレールに付属)

スリ防止シート(アルミレールに付属)
縦向き、傾斜取付時に使用
(ユニット4連結に1個、TR-CHC100Aは1ユニットに1個)

コネクタとコードがはみ出さないようにユニット内に収めてください。

LEDモジュールを連結する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続し、ユニットをアルミレールに装着してください。

- ⑤LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。

⑤LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。

⑥ユニットをアルミレールに装着してください。

⑦ユニットを連結してください。

<連結解除のしかた>
①マイナスドライバーなどをユニット間に差し込む ②ひねって連結を解除する
注意】ユニットの連結は2回まで。(ジョインター部、破損の原因)

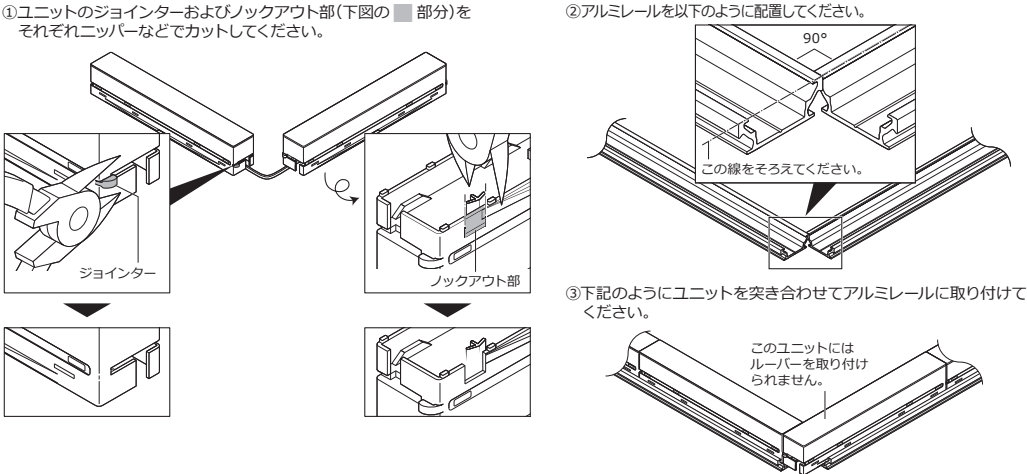
縦向き取付時
注意】LEDモジュールを取り付ける向きによっては、必要に応じてねじ(別途必要)で滑り止めをおこなってください。

滑り止めねじ(別途必要)

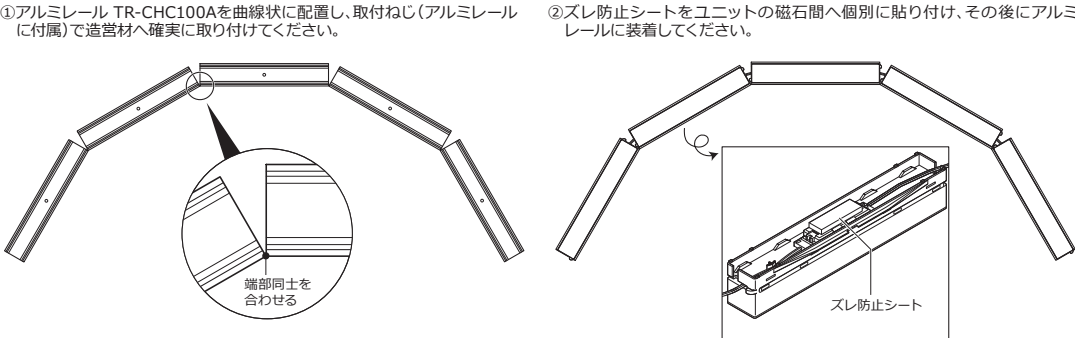
1.本体の取り付け（続き）

アルミレール TR-CHC(別売)で取り付ける場合(続き)

■90°で取り付ける（表面の「1.本体の取り付け」とあわせてお読みください。）



■曲線状に取り付ける（表面の「1.本体の取り付け」とあわせてお読みください。）



マグネット受け金具FLMG(別売)、FLMGL(別売)で取り付ける場合

■直線で取り付ける

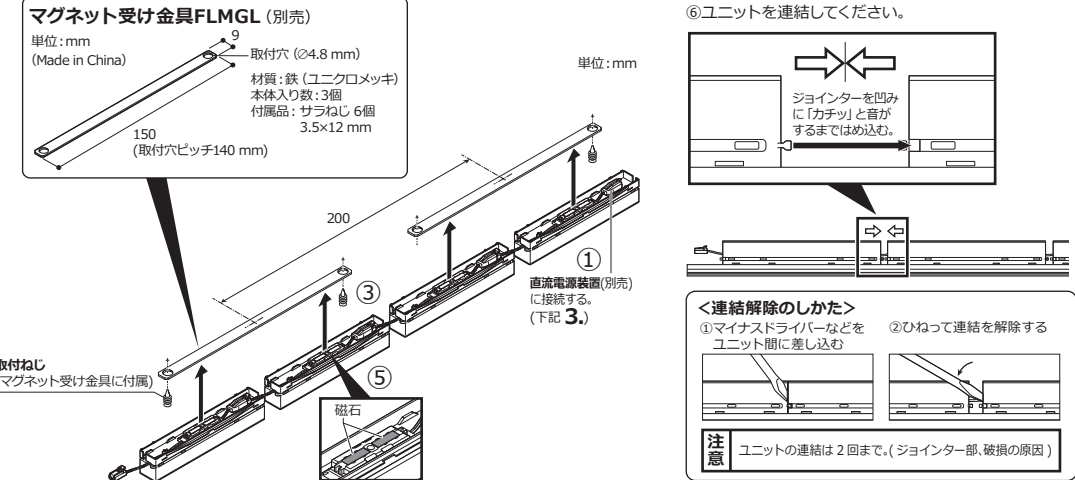
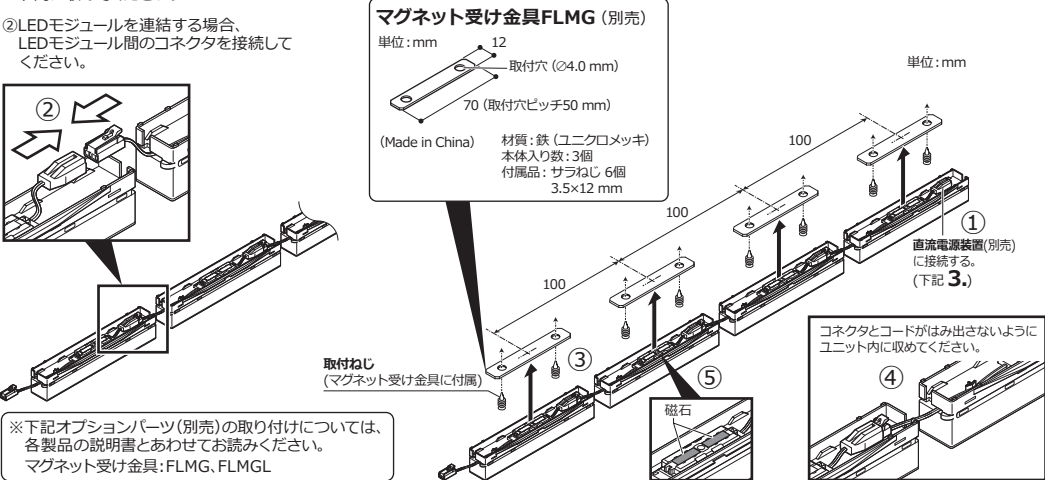
①LEDモジュールの電源入力コネクタを専用コードのコネクタに接続し、ユニット内に収めてください。

②LEDモジュールを連結する場合、LEDモジュール間のコネクタを接続してください。

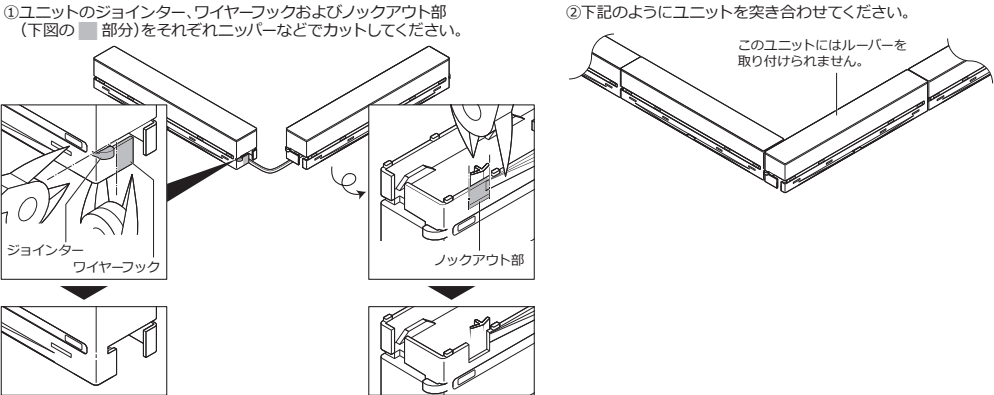
③ユニットの磁石部の位置に合わせて、マグネット受け金具を取付ねじ(マグネット受け金具に付属)で造営材へ確実に取り付けてください。

④コネクタとコードがはみ出さないようにユニット内に収めてください。

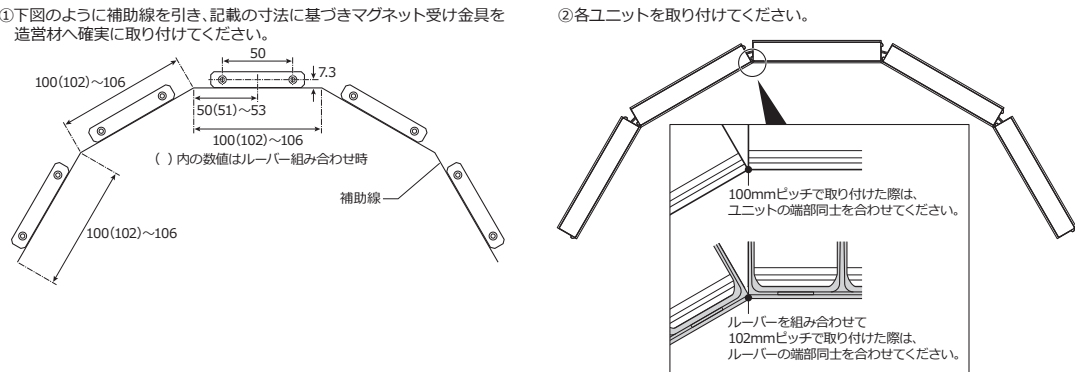
⑤ユニットの磁石部をマグネット受け金具へ貼り付けて取り付けてください。



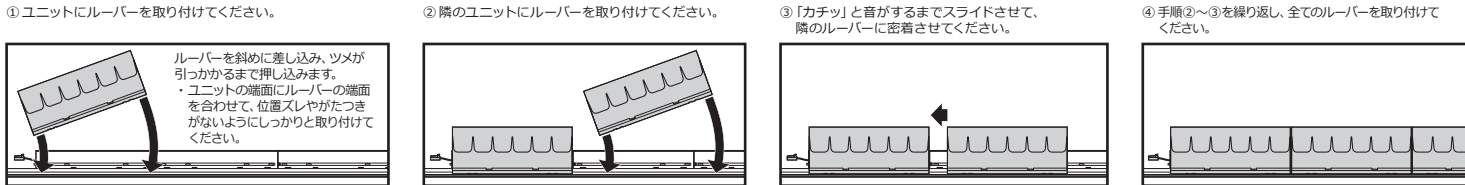
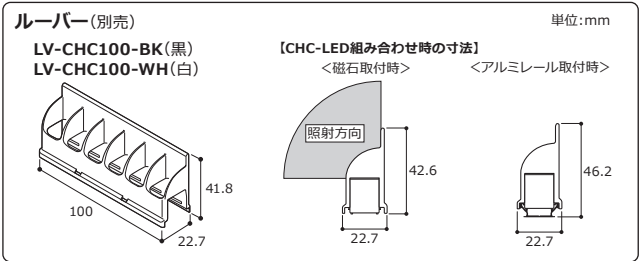
■90°で取り付ける（上記の「■直線で取り付ける」とあわせてお読みください。）



■曲線状に取り付ける（上記の「■直線で取り付ける」とあわせてお読みください。） (マグネット受け金具 FLMGを使用する場合)



2.ルーバーLV-CHC100(別売)の取り付け（必要に応じて取り付けてください。）



3.直流電源装置(別売)の接続

※必ず電源を切ってください。

注意 直流電源装置の最大使用W数以下で使用。(故障の原因)

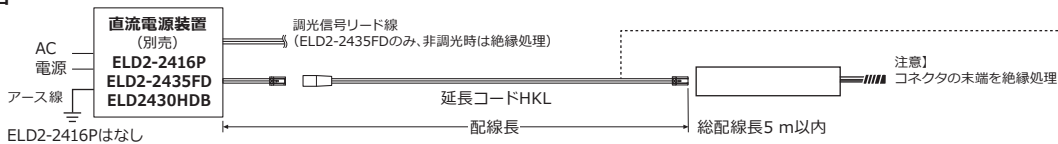
直流電源装置の取り扱いについては、各製品の取扱説明書をお読みください。

●ELD2-2416P、ELD2-2435FD、ELD2430HDBを使用する場合

・専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。

・調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をお読みください。

注意 ・総配線長は5m以内。(チラツキや暗点灯の原因)



直流電源装置とLEDモジュール間を延長する場合に使用

延長コードHKL(別売)

HKL100 HKL150 HKL300 HKL500

HKL1000 HKL2000 HKL3000 HKL4500

※末尾の数字は電線の長さを表します。(単位:mm)

16.1

9.6

単位:mm

●ELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FD、ELD24150FDDを使用する場合

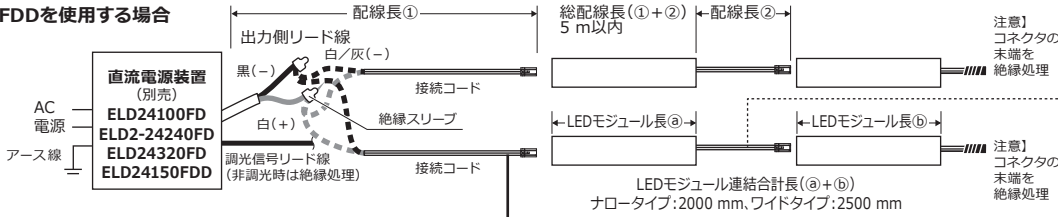
・専用コードHKL(別売)を必ず使用し下図の通り配線してください。

・LEDモジュール連結合計長がナロータイプ:2000mm、ワイドタイプ:2500mmを越える場合は、直流電源装置 出力側リード線の末端で分岐してLEDモジュールを接続してください。

・調光用直流電源装置と調光器の接続については各調光器の取扱説明書をお読みください。

注意 ・LEDモジュール連結合計長はナロータイプ:2000mm以内/ワイドタイプ:2500mm以内。(火災の原因)

・総配線長は5m以内。(チラツキ、暗点灯の原因)



LEDモジュール間を延長する場合に使用

延長コードHKL(別売)

HKL100 HKL150 HKL300 HKL500

HKL1000 HKL2000 HKL3000 HKL4500

※末尾の数字は電線の長さを表します。(単位:mm)

16.1

9.6

単位:mm

接続コード(別売) HKL3000片切り HKL4500片切り

コネクタ

5.1

4.9

9.6

白(+)

白/灰(-)

単位:mm

※末尾の数字は電線の長さを表します。(単位:mm)

●集中電源システムELD24100FD、ELD2-24240FD、ELD24320FDを使用する場合

・ラインコンセントZLC(別売)とZLHコード(別売)を使用し、ラインコンセントZLCの電線を直流電源装置の出力側リード線へ圧着接続してください。

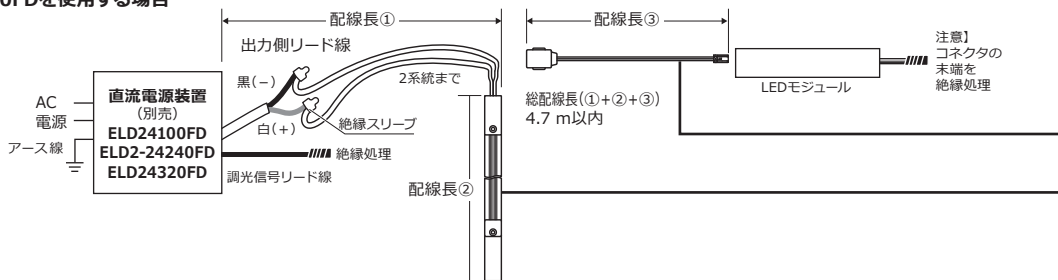
・調光信号リード線を絶縁処理してください。

・調光信号リード線の配線は非調光の例です。

・調光する場合は、直流電源装置と調光ドライバの取扱説明書をお読みください。

注意 ・LEDモジュール連結合計長はナロータイプ:1000mm以内/ワイドタイプ:1500mm以内。(火災の原因)

・総配線長は4.7m以内。(チラツキ、暗点灯の原因)



ZLHコード(別売) ZLH400 ZLH500 ZLH600

定格: DC24 V/1.2 A

※末尾の数字は本体の長さを表します。(単位:mm)

ラインコンセントZLC(別売) ZLC800 ZLC1000 ZLC1200 ZLC1500 ZLC1800

定格: DC30V/15A

※末尾の数字は本体の長さを表します。(単位:mm)

4.電源の供給

全ての作業が終わりましたら電源を入れ、LEDが点灯することを確認してください。